

12月1～28日

屈斜路コタンで生まれた繊細な作品の数々 川湯EMCで磯里博巳さんの工芸作品展

作品の説明を行う磯里さん



川湯エコミュージアムセンターの2階ギャラリーで12月1日～28日、阿寒国立公園指定80周年を記念して、アイヌ工芸作家・磯里博巳さんによる作品展「屈斜路コタンに生きる～磯里博巳の世界～」が行われました。

物心ついたところから彫刻刀を握り始め、40年以上になるという磯里さん。今回は、20～30代のころに制作した木彫りの壁掛けや彫像をはじめ、最新作のエゾシカ角やガラス玉を素材にしたアクセサリなど、25点が並びました。

訪れた方たちは、磯里さんから制作過程の裏話や手法などを聞くと、あらためて作品に見入っていました。

11月30日

どんな方でも旅を楽しめるように 着地型「旅のガイド」養成研修会

目が不自由な状況を体験



てしかがえこまち推進協議会UD(ユニバーサルデザイン)部会(三木亨部会長)主催の着地型「旅のガイド」養成研修会が11月30日、ピュア・フィールド風曜日で開催されました。

ハンディキャップのある方の旅のお手伝いをする方を養成する目的で開催されたものです。基礎編の今回は、町内外から14人の参加があり「旅のガイド」に求められる能力や、旅行者への援助の基本、コミュニケーションの技法、事故防止対策と安全面への配慮などを学びました。

次回は5月に実践編を行う予定です。

11月24日

災害時、施設居住者の避難を円滑に 特別養護老人ホーム摩周で防災研修会

講師の話に聴き入る



特別養護老人ホーム摩周(小林健一施設長・職員数58人)では11月24日、防災研修会を開催しました。研修会には14人が参加。役場総務課の防災対策専門官が「災害発生時に、冷静に施設居住者の安全を確保するための心構え」と題して講話を行いました。

隣接する養護老人ホーム倭和園が2013年6月に同趣旨の研修会を行っており、その成果を受けて行われたもの。同施設は、大雨特別警報発表時には洪水災害の可能性があります。また、地震とそれに伴う火災発生時における入所者の安全確保と避難手順についても、全職員が理解しておく必要があります。講師は「摩周厚生病院の隣に移転した後も、今回の成果を生かして、利用者の安全確保に努めてほしい」と述べました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけつけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

12月5日

四季を通じた教育活動を目指して 玉川大学の宿泊施設「晴耕塾」が完成

完成を祝ってテープカット



美留和にある玉川大学(小原芳明理事長・東京都)弟子屈農場の新しい宿泊施設「晴耕塾」が完成し、竣工式が12月5日、同施設で行われました。

町と同大は2010年、学術研究と産業振興などで相互協力する連携協定を締結しています。同農場では農学部が宿泊研修を行っています。宿泊施設は1973年築で老朽化が懸念されていたため、今回新たに建設したもの。鉄筋コンクリート2階建てで、延床面積は672.46平方メートル。40人収容でき、内装には同大演習林内のシラカンバやエゾマツを利用しています。

12月4日

いざというとき園児の安全を第一に 保育士連絡協議会が3回目の防災研修

研修で避難の手順などを再確認



弟子屈町保育士連絡協議会が12月4日、役場総務課の防災対策専門官を講師に招いて今年度3回目の防災研修を行いました。

同協議会は町立保育園などに勤務する保育士18人で構成。今年度は防災をテーマに研修を行っています。これまでに、町内の避難所の位置や避難所の備蓄品、災害発生時に園児を守るための基本的な対応要領などについて学びました。今回は3グループに分かれ、災害の種類に応じた避難の手順や報告系統について意見発表。また、硫黄山が突然噴火した際の避難経路を地図上に書き込んで発表する災害図上訓練(D I G)も行いました。

11月27日

長年にわたり献血運動に協力 厚生病院が日本赤十字社献血功労団体表彰

感謝状と有功章を受け取る森院長



摩周厚生病院(森正光院長)が、日本赤十字社支部長感謝状ならびに有功章を受章しました。

長年にわたり献血運動に功労のあった企業や団体を、同社が表彰しているものです。7月10日に名古屋市で行われた第50回献血運動推進全国大会で、同院が授章されました。

伝達式は11月27日、同院で行われ、日本赤十字社弟子屈町分区長の徳永町長から、森院長に感謝状と有功章が手渡されました。

11月26日

かっこいい夫・お父さんを目指そう 男のスキルアップセミナーを開催

持論を展開する那須さん



J A摩周湖青年部(山内功丞部長)主催の「男のスキルアップセミナー」が11月26日、J A摩周湖で行われました。

地域を元気にするためには、その中心を担う既婚男性を元気にしよう開催された研修会で、講師は日本イケダ協会の那須顯一さん。那須さんは「かっこいい男性とは、外見ではなく、周りに対する思いやりを持った前向きな人間」と強調。他人は変えられないが自分を変えることはでき、自分自身が変わることによって未来や相手が変わるといった、人間関係を良くするためのコミュニケーション術について話し、参加者の皆さんは熱心に聴き入っていました。

12月12日

地域の役に立ちたい 今井林業が間伐材搬出の社会貢献活動

重機を使って間伐材を町民農園へ



今井林業(伊藤喜美雄代表取締役)の皆さんが12月12日、町有林の間伐材を町民農園へと搬出する作業を行いました。

地域の役に立ちたいと、社会貢献活動の一環として行ったもの。間伐材は、町民農園で栽培されているワイン醸造用のブドウの支柱として使われます。皆さんは、前日に降った雪が残り寒風が吹きつける厳しい条件の中、丁寧に作業を行いました。

12月8日

悩んでいる人について理解を深めて 自殺予防ゲートキーパー研修会を開催

悩んでいる方への声かけを実践



町主催の自殺予防ゲートキーパー研修会が12月8日、町公民館で開催されました。

自殺予防ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげる「見守る人」のことです。地域の皆さんに、この「見守る人」になっていただきたいと開催されました。研修会では、町の保健師が自殺に結びつく病気や本町の現状について説明したほか、参加者による役割練習も実施。悩んでいる方への声かけや、必要な支援につなげていく対応を学びました。

11月29日

韓国について理解を深めよう てしかが国際交流会が講演会を開催

二日市さんの話に聴き入る皆さん



てしかが国際交流会(池上清子会長)主催の講演会が11月29日、川湯ふるさと館で開催されました。

同会が2011年から行う国際交流イベント「もっと外国を知ろう」プログラムの一環で、今回で15回目。約40人が参加しました。今回のテーマは韓国。韓国に滞在経験のある二日市壮さん(仁伏)が「日韓関係と最近の韓国」と題して講演を行いました。また、澤井南花さん(美里)が、韓国の民族衣装や食べ物を紹介し、参加者の皆さんは興味を持たれたようでした。

11月28日

小学生が手づくりの催しに園児を招待 合同生活科「ましゅうランド」

趣向を凝らしたゲーム屋さん



町内6つの小学校の1、2年生が集まり、お店屋さんごっこを楽しむ合同生活科「ましゅうランド」が11月28日、弟子屈小学校で行われました。生活科の授業の一環。

コミュニケーションの大切さを学び、自らの成長を味わうことを目的に、毎年行われています。児童はグループに分かれて、ボウリングやパラシュート落としなどのゲームのお店を開店。招待された町内の保育園・幼稚園児がお客さんとなり、各お店を回りました。ゲームの内容は児童が考えて準備したほか、当日は園児を相手に接客も行いました。